

# ティーンズ プレス Teens Press

～10代のあなたへおくる～

第3号 2016年3月発行  
発行：世田谷区立中央図書館  
(世田谷区弦巻3-16-8)  
電話：3429-1811  
FAX：3429-7436  
図書館ホームページ  
http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp



深沢図書館 ヤングコーナー

## 区立図書館で、YAコーナーがある図書館

- ・梅丘図書館
- ・上北沢図書館
- ・烏山図書館
- ・砧図書館
- ・桜丘図書館
- ・深沢図書館

ぜひ、利用してくださいね!

ヤングアダルト

## ☆YAコーナーとは☆

中高生向けに書かれた本などを集めたコーナーです。小説だけでなく、職業についての本など、中高生のみなさんに“今”読んでもらいたい本を集めています。

「どの本から手をつければ良いのかわからない！」  
という人のために、この本を紹介します。

### 『今すぐ読みたい!』

#### 10代のためのYAブックガイド150!

金原瑞人/ひこ・田中監修 (ポプラ社)



書店員から書評家、作家・翻訳家まで、本に携わるプロたちが、「純粋に面白いからみんなにも読んでほしい!」と思った本を、簡単なあらすじやオススメポイントを添えて紹介しています。

10代の「今」を感じる本や、見知らぬ世界を旅する本、現実を見つめる本など、ジャンル別に掲載されています。

「読書は冒険です。」(by ひこ・田中)

予告!!

「子ども読書の日」記念講演会  
絵本作家・五味太郎さんが  
やってくる!

「さる・るるる」(絵本館)や「きんぎょがにげた」(福音館書店)でおなじみの五味太郎さんをお呼びします。

「知ってる!」という人もいるのでは?事前申込制。ぜひ来てください!

日時: 4月16日(土)  
午後2時~3時30分

場所: 教育センター3階「ぎんが」

詳しくは、4月1日発行の区のおしらせ「せたがや」、または、図書館にあるちらしを見てください。

## 図書館員からのオススメ本!

### 『夢へ翔けて』

～戦争孤児から  
世界的バレリーナへ～  
ミケーラ・デプリンス著  
エレーン・デプリンス共著  
田中奈津子訳 (ポプラ社)



ミケーラは、西アフリカ・シエラレオネで戦争孤児だった黒人の少女。彼女は、バレリーナを夢見て、黒人への差別や偏見を受けながらも、夢をあきらめず、努力し挑戦し続けます。前向きに明るく生きぬく力強さが伝わってくる一冊です。

### 『14歳からの宇宙論』

(14歳の世渡り術)  
佐藤勝彦著  
益田ミリマンガ  
(河出書房新社)



「ラニアケア超銀河団 局所銀河群 銀河系 オリオン腕 太陽系 第三惑星」  
これは何を指しているかわかりますか?  
答えは、最新の観測による宇宙の中における地球の住所です。みなさんは宇宙のことをどれだけ知っていますか?この本を通して、想像力の翼で広大無辺な宇宙へ飛び立とう!!

### 『何のために「学ぶ」のか』

(ちくまプリマー新書)  
外山滋比古ほか著  
(筑摩書房)



脳科学者や大学教授など学びの達人と呼ばれる人達から【大切なのは「知識」ではなく正解のない問いに直面した時に考え続けるための「知恵」である。】ということが語られます。“今”という変化の激しい時代を生きていく若者達に向けて贈られたメッセージがいっぱい。

# 行ってきました！

あかまつがくしゃ  
**赤松学舎**



松沢中学校は生徒数348人、学級数13クラスの学校です。世田谷区立小中学校の学び舎「赤松学舎」として、赤堤小学校、松沢小学校と連携し義務教育9年間を通じて一貫性のある学習指導を行うなど、とても活気にあふれた学校です。

## 松沢中学校図書館

### 生徒に大人気の図書館



貸出・返却のカウンターの周りに、オリジナルのブックスタンドを配置し、少ないスペースでもたくさんの本を紹介できるように表紙をななめに見せる工夫がしてありました。

生徒の中には「図書館の匂いが好き」や「区立図書館まで遠いので学校の図書館を利用している」という声も…。授業で調べられなかった事を調べに来る生徒も多く、昼休みも毎日利用できます。とても人気がある図書館です。

### 工夫された展示

入口に立つとその月のテーマ本が目飛び込んできます。訪問したときは“あなたの心にはどの言葉が一番残るでしょう？”のキャプションとともに、『大丈夫！キミならできる！』（河出書房新社）、『心にひびくマンガの名言』（学研教育出版）などが並んでいました。また、男子フィギュアで大活躍の『羽生結弦語録』（ぴあ）もありました。



### 同窓会文庫

同窓生の寄贈本から始まりました。卒業生とつながりがある本を50冊集めることを目標にしています。卒業生の新野剛志さん（作家）のサイン入りの本のほか、卒業生が関係している本がたくさん紹介されています。年一回講演会も開催します。



### 活発な図書委員会活動

#### 《夢プロジェクト》

古本を集めてお金に換え、被災地に送る活動をしています。

#### 《本を語る会》

毎週金曜日昼休みに「本を語る会」を実施しています。誰でも自由に参加できるフリートークの場となっています。

#### 《学級文庫への配架》

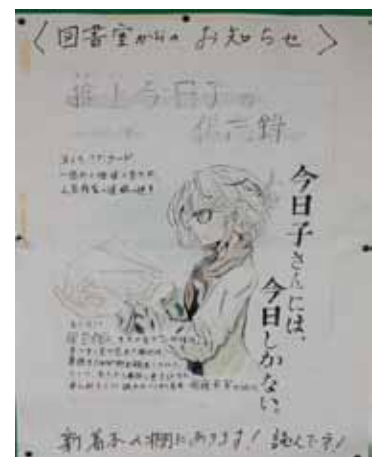
除籍になった本を各教室に20冊ずつ配りました。

#### 《掲示物の作成》

図書館内はもちろんのこと、図書館に至る廊下には楽しい掲示物がたくさんあり、図書館へのプロムナードになっていました。

#### 《熱い情熱》

司書の星野さんや担当の先生と図書委員が一緒になって図書館を充実させようとする熱い情熱が委員会活動の原動力です。



図書委員さんが書いた新刊情報！

正門で案内してくれた生徒さん、廊下で立ち止まってあいさつしてくれた生徒さん、みなさんがとても礼儀正しく、清々しく思いました。ありがとうございました。



世田谷区立図書館では職場体験学習を行う区内の中学生を応援しています

中学生  
職場体験

×

世田谷区立  
図書館

= !!

1月20日と21日の2日間、桜丘図書館で桜丘中学校2年生2名が職場体験学習を行いました。中学生の皆さんには「予約の本を探す作業」や「本にビニールコーティングをする作業」など、普段表には出ない図書館バックヤードでの仕事を中心に体験してもらいました。また「おはなし会」には絵本の読み手として参加してもらいました。

## Before After

### 図書館の仕事を体験した後 中学生の皆さんの感想

- Q** なぜ図書館の仕事を体験しようと思ったのですか？
- A** 本が好きだからです。将来は本に関わる職につけたらいいなと思っていたからです。
- Q** 一番印象に残った仕事はなんですか？
- A** 本を棚に戻す作業や、整理する作業です。
- A** おはなし会では子どもたちと触れ合えて楽しかったです。
- Q** 職場体験の前と後で図書館のイメージは変わりましたか？
- A** 想像していたよりも本が重く力仕事だと思いました。
- A** 図書館の運営には図書館員の人だけでなく、本に関係する様々な機関やボランティアさんが協力していることを知りました。
- Q** 図書館での体験をクラスメートにどう伝えたいですか？
- A** 図書の分類をしっかりと覚えていないと仕事に時間がかかると思いました。図書全般の知識が重要だと感じました。
- Q** おすすめの本があれば教えてください。
- A** 『獣の奏者』上橋菜穂子著（講談社）です。小学生のころから何回も読み返しました。
- A** 辻村深月さんの本です。特に『サクラ咲く』（光文社）がおすすめです。

## Point 2日間おつかれさまでした

2日間という短い時間でしたが、中学生の皆さんは慣れない作業にも関わらず最後まで一生懸命取り組んでくれました。

特に、おはなし会の練習は熱心に取り組み、本番直前まで何回も何回も読む練習をしていました。おはなし会に参加した子どもたちは、お兄さん・お姉さんに絵本を読んでもらってとても喜んでいる様子でした。



緊張ながらも、  
一生懸命読み  
ました！



## おはなし会

読む本は中学生自ら選びました。入念に練習し本番に備えました。おはなし会には子ども15名、保護者9名が参加しました。

## おはなし会で 中学生が読んだ本

- 『ドアがあいて…』  
エルンスト・ヤンドゥル作  
ノルマン・ユング絵 ほるぷ出版
- 『とうふさんがね…』  
とよたかずひこさく・え 童心社
- 『ころころころ』  
元永定正さく・え 福音館書店

## マララ Malala

教育のために立ち上がり、世界を変えた少女

マララ・ユスフザイ  
パトリシア・マコミック [著]

道傳愛子 [訳]  
岩崎書店 [発行]

この本は2014年ノーベル平和賞を受賞した、マララ・ユスフザイさんの手記です。自分の夢と大好きな学校を守るために、『言葉』と『知識』を武器に戦い続けるマララさんが書かれています。命の危険にさらされても、決してあきらめず、まっすぐ前を向いて進んでいくマララさんの強さに感動しました！  
速くはなれた14時スタンで何が起きていたのか。マララさんは誰とどう戦っていたのか。その長い道のりをのぞいてみませんか？

“私の夢は銃では撃てない。” -マララ-

(駒沢中 S. Aさん)

## 『ぼくと1ルピーの神様』

ヴィカス・スワラップ著 子安亜弥訳  
(ランダムハウス講談社)

この本は、インドが舞台になっており孤児の少年で主人公であるラムがクイズ番組で史上最高額の賞金を手にしたが、警察が孤児で教養のないラムが13問の難問に答えられはしない、不正をしたに違いないと逮捕するところから始まります。そのあと、弁護士にクイズの問題一つ一つについて聞かれますが、クイズに答えられたのは本当に偶然であり、ラムの人生の軌跡からのものだということが分かっていくというのが大まかなあらすじです。

もちろんフィクションですが、読んでいくうちに浮き彫りになってくるインドの抱えている貧困格差などの社会問題に関しては紛れもない事実なので、今の自分はどんなに幸せなのかを強く認識するとともに、何も出来ない自分を恥ずかしく思いました。とにかく、世界にはこんな国があるということを知っておくためにも一度読んでおくと良い作品だと思います。(駒沢中 K. Kさん)

↑翻訳本が苦手な君でも大丈夫、ぐんぐん読めます！でも、この本は文庫版も絶版なので買うことができません。ぜひ図書館を利用してください。



お知らせ

## ビブリアバトルを見てみよう！

そして、あの「ぼくら」シリーズで有名な宗田理さんの講演会も開催！

開催日時 平成28年3月19日(土) 午後2時から4時30分(開場は午後1時30分から)

場 所 教育センター3階「ぎんが」

申込方法 3月17日(木)までに、図書館にあるちらしの申込用紙を切り取り、世田谷区立図書館に、持参またはFAXしてください。先着120名。

問い合わせ 電話：3429-1811 FAX：3429-7436

主 催 世田谷区立中央図書館

### ?ビブリアバトル(知的書評合戦)って何するの?

《公式ルール》

- ①発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- ②順番に一人5分間で本を紹介する。
- ③それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
- ④全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一人一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

当日は、区内の中高生のみなさんが実際にビブリアバトルをしてくれます。もしかしたら、みんなのおともだちが出るかも!? ぜひ来てくださいね!

### 「ぼくらの七日間戦争」

宗田理著  
(ポプラ社)



このお話は、中学生の英治とその仲間たち“ぼくら”が、大人たちにもった不満を「解放区」に立てこもってやりかえすという有名な作品で、映画化もされています。

僕はいつも「ぼくらシリーズ」を読んでいるととてもわくわくしてきて、“ぼくら”のような素敵な仲間ができればいいと思います。是非読んでみてください！(桜木中 Y. Yより)

## 編集後記

そろそろ卒業式の季節ですね。今年度で中学や高校などを卒業するみなさん、おめでとうございます。卒業と言えば、今度「まちかど図書室」(注)は、貸出券で貸出ししていたのを卒業して、図書館と同じ水色の「世田谷区立図書館共通利用カード」が使えるようになります(4月予定)。名称も「〇〇まちかど図書室」の「まちかど」を取り、「〇〇図書室」になります。新しい図書室をぜひ利用してみてください。

(注) 池尻・希望丘・野毛・松沢の4室

中高生のビブリオバトル&amp;講演会

# 講師変更のおしらせ

\*宗田理氏体調不良のため、金原瑞人氏の講演となります。

かねはらみずひと

## 金原瑞人氏(翻訳家)

「翻訳って、本当にだいじょうぶ？  
翻訳物の本当の楽しみ方」

金原瑞人氏 プロフィール

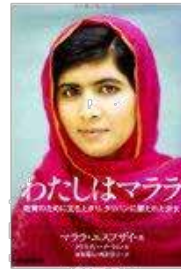
1954年、岡山県生まれ。法政大学教授、翻訳家。児童書やYAむけの作品のほか、一般書、ノンフィクションなど、翻訳書は450点以上。訳書に『豚の死なない日』『青空のむこう』『国のない男』など、エッセイに『サリンジャーに、マティーニを教わった』などがある。



金原瑞人/ひこ・田中 監修  
ポプラ社



アレックス・シアラー 著  
求道堂



マララ・ユスフザイ 著  
クリスティーナ・ラム 著  
偕成社



SFサイド 作  
偕成社



マーギー・プロイス 著  
集英社

日時 **3月19日(土) 午後2時から午後4時30分** (開場午後1時30分)

第1部 中高生のビブリオバトル

第2部 金原瑞人氏講演会 (3時10分開始予定)

会場 教育センター3階「ぎんが」(世田谷区弦巻3-16-8)

定員 先着120名(小学校高学年から大人まで)

申込方法 区立図書館の窓口へ直接、またはファクシミリで中央図書館まで

下の申込用紙をご利用ください。

電子申請でも申し込めます。

申込締切 **3月17日(木)**

申込受付中!!  
大人の方もどうぞ

主催: 世田谷区立中央図書館

問い合わせ: 中央図書館

電話 3429-1811

FAX 3429-7436

図書館ホームページ

<http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/>

フリガナ		年齢	歳
氏名			
電話番号			
住所			